



メンサー製作の様子(伊波メンサー織作業所)



素朴さの中にも深い味わいがある伊波メンサー



修了生の皆さんと作業所の方々

市指定文化財の「伊波メンサー織」は、全国的にも珍しい織り方で、身近にある竹や木の棒でつくられた織り具を使って製作しています。

市の貴重な民俗文化財を後世に伝えていくため、市教育委員会では平成10年度から後継者育成事業を行っています。2月4日には、第8期生の3名の方が2年間の講習を履修し、その修了式が生涯学習・文化振興センターゆらてくにて行われました。

修了生の大村良江さん(勝連平敷屋は、伊波メンサーの色彩や模様、また、その歴史も含めて魅力に引き込まれました。今後も織り続けていき、伊波メンサーの魅力伝えていきたい」と述べました。

2/4

「伊波メンサー織」

うるまの伝統を後世に伝える



いきいき百歳体操を行うサロンの参加者

2/1

地域一体となって介護予防！
高齢者交流サロン開所

高齢者の社会参加や、生きがいづくりの活動拠点の場を目指す、高齢者交流サロン「赤道区ももの会サロン」の開所式が行われました。

高齢者交流サロンは市内では赤道区が初。うるま市地域介護予防活動支援事業の一環で、参加者の興味・関心に合わせた介護予防メニューを活動に取り入れ、積極的な介護予防対策を行っていきます。

ももの会サロン代表を務める小牧ムツ子さんは開所にあたり「皆さんと仲良く、楽しい会にしていきたい」嬉しそうに話していました。



開所式でのテーブルカット

2/11

第30回天願川デー市民大清掃

2月11日に天願、宇堅、赤野区域の天願川周辺において、「第30回天願川デー市民大清掃」が行われました。自治会関係団体の方々を始め、学校、商工、福祉、企業等の関係者ら約600人が参加しました。

同清掃活動は、天願川の清掃を通じて、河川をはじめ自然環境に対する市民の認識を高め、環境問題を考える機会にすることを目的に、平成元年より毎年行っており今回で30回目の開催となりました。

近年は、市内のスポーツ少年団や中高生の部活動等の児童・生徒たちの参加も多くなっており、環境学習の機会としても活かされています。

来る5月には、1,500匹以上のこののぼりが天願川上空を泳ぐ「天願川清流まつり」の開催が予定されています。きれいになった天願川へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



1/26

文化財防火デー
伊計島 仲原遺跡

地域にある貴重な文化財に対する防火意識を高めるため、市教育委員会や消防本部、関連団体などによる防火訓練が、伊計島の「仲原遺跡」で行われました。

「仲原遺跡」は縄文時代の竪穴式住居を復元した国指定史跡です。

「1月26日」は、法隆寺の金堂が炎上し、壁面が焼損した日で、「文化財防火デー」と定められており、毎年、同時期に市内の文化遺跡等にて防火訓練を行っています。



12/17

うるま市駅伝競走大会

～海中路を颯爽と駆け抜ける～

長距離の競技力向上と駅伝を通して相互の融和と体力向上を図るため、第13回うるま市駅伝競走大会(主催：うるま市体育協会)が海中路にて開催されました。

今大会へは、14チームが参加し、5区間24kmを男女7名の選手がタスキを繋いでゴールを目指しました。



優勝のゴールテープをきるうるまRC(A)の山本選手

- 【大会結果】
- 1位 うるまRC (A)
 - 2位 エコパル舎
 - 3位 うるまRC (C)